

告示	番号	13	内分泌疾患
	疾病名	副腎皮質結節性過形成	

副腎皮質結節性過形成

ふくじんひしつっせつせいかけいせい

概念・定義

高コルチゾール血症にともない、糖代謝、脂質代謝、循環の異常、蛋白異化、免疫力低下をきたす状態がクッシング症候群である。クッシング症候群は副腎腺腫、副腎皮質癌、副腎過形成からの自律性コルチゾール分泌を原因とする ACTH 非依存性と ACTH 産生下垂体腺腫や異所性 ACTH 産生腺腫を原因とする ACTH 依存性に分類される。

副腎皮質結節性過形成症による自律性コルチゾール分泌によるものが本症である。

症状

満月様顔貌、中心性肥満または水牛様脂肪沈着、皮膚の伸展性赤紫色皮膚線条（幅 1 cm 以上）、皮膚のひ薄化および皮下溢血、近位筋萎縮による筋力低下、小児における肥満をともなった成長遅延などがある。非特異的症候として高血圧、月経異常、座蒼（にきび）、多毛、浮腫、

耐糖能異常、骨粗鬆症、色素沈着、精神異常がある。診断についてはクッシング病の診断ガイドラインを参考にする。

本症の画像診断ではエコー、CT、MRI で両側副腎の著しい腫大、副腎シンチグラフィで両側副腎への取り込み増大が見られる。両側副腎皮質腺腫や ACTH 依存性結節性過形成を鑑別する。

治療

両側過形成のときは両側または片側副腎摘出を行う。

抜粋元： http://www.shouman.jp/details/5_18_36.html